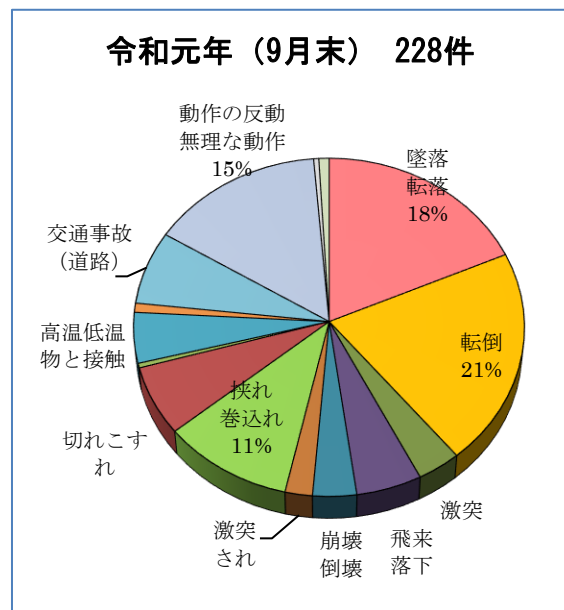
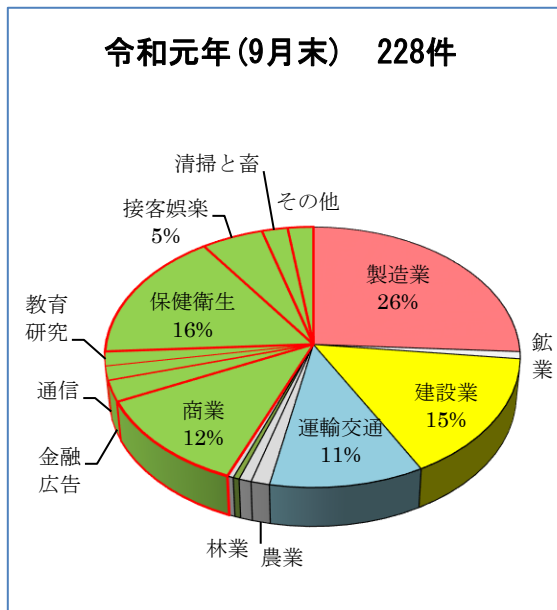


実施日	令和元年 10月 28日	担当	諫早労働基準監督署
-----	--------------	----	-----------

労働災害の防止にむけた取り組みについて

諫早労働基準監督署（署長 前原 武士）は、令和元年の当署管内における労働災害による死亡者が2人（前年0人）となり、また、休業4日以上労働災害件数が前年同期と比較し33件（16.9%）増加したことから、一般社団法人 長崎県労働基準協会 諫早大村支部等を通じて、労働災害の防止にむけた取り組みをお願いしました。

なお、諫早労働基準監督署（管内：諫早市、大村市、東彼杵町）の令和元年（9月末時点）の全産業における休業4日以上労働災害の発生状況は以下のとおりです。



事業主の皆様へ

諫早労働基準監督署

### 労働災害の防止に向けた取り組みについて

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は労働基準行政の推進にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和元年（9月末）の諫早労働基準監督署管内の労働災害発生状況は、死亡者が2人（前年0人）であり、休業4日以上之死傷者数は228人（前年同期比16.9%増）と増加しています。

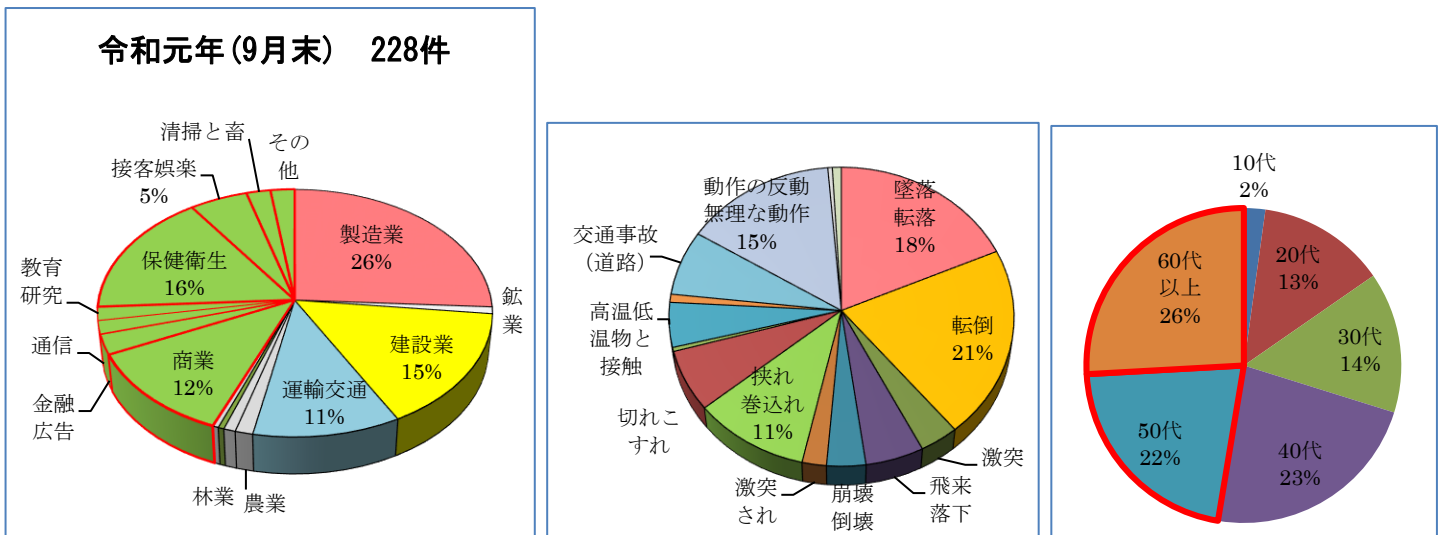
業種別では、保健衛生業（37人）及び商業（27人）を中心に第3次産業における災害が全体の4割を占め、次いで製造業（59人）、建設業（35人）、運輸交通業（25人）の状況となっており、殆どの業種において災害が増加しています。

中でも製造業においては前年の確定値を既に上回っており、特に金属製品製造業及び食料品製造業の増加率が高く、また、第3次産業の増加率も高い状況にあります。

災害の特徴としては、依然として転倒災害が最も多く全体の2割を占めており、年代別では50歳以上が約半数を占めています。

この様な中、労働基準行政としては「STOP！転倒災害プロジェクト」、「働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動」、さらには高年齢労働者の安全と健康確保のための職場改善に向けた「エイジアクション100」等の施策を展開しているところです。

各事業場におかれましては、日頃より労働災害の防止にご尽力を頂いていることと存じますが、裏面の災害事例を参考にして頂き、更なる労働災害の防止に取り組んで頂きますようお願い致します。



## 諫早労働基準監督署管内の死亡災害

1	7月	男	建設現場で当日の作業を終えた1次下請の労働者が、会社の車に分乗し会社（宮崎県）に帰っていたところ、高速道路で自損事故をおこし、同乗者4名のうち1名が死亡し3名負傷。	建設業（土木）
		作業員		乗用車等
		50代		交通事故
2	10月	男	採石場において、場内を走行していたトラクター・ショベルの進路に立ち入っていた被災者とトラクター・ショベルが接触し、前輪に轢かれたもの。	鉱業（採石）
		作業員		建設機械等
		60代		挟れ・巻入れ

## 災害事例（多発する災害及び直近に発生した重篤な災害）

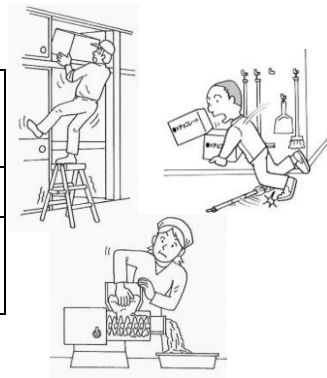
### 製造業

挟まれ 巻込まれ	NCフライス盤を使用した金属の切削加工（確認中）において、着用していた手袋が刃に巻き込まれ、手・腕を巻き込まれ負傷。
転倒	階段を下りる際に足を踏み外し（又は滑って）転倒。 床マットのめくれ、レールの凹凸、台車等に躓き転倒。
腰痛	低い姿勢、不自然な姿勢で荷・材料を抱えた際に腰痛を発症。



### 商業

転倒	脚立・階段の踏み外しによる転倒。商品・段ボール等の物に躓き転倒。 小走りで移動中に足がもつれて転倒。
交通事故	バイクで配達中、動物・路上物を避けようとして転倒。運転を誤り川へ転落。
挟まれ 巻込まれ	精肉のミンチ加工において、ミンチ加工機の手入れ時に肉を押し込む際に治具（棒）を使わず、手で材料を押し込み、指3本を切断。



### 保健衛生業

転倒	階段、段差の踏み外しによる転倒。床が濡れていて滑り転倒。 わずかな段差や物に躓き転倒。小走りで移動中に足がもつれて転倒。
腰痛	利用者の移乗、体位の変換中に腰痛を発症。荷の取扱中に腰痛を発症。
やけど	鍋に入ったお湯を別の容器に移す作業で容器が倒れて火傷。 天ぷら油の入った鍋を移動中に転倒し火傷。
その他	入院、入所者等からの暴力等。



### 建設業

墜落	はしご、脚立、足場からの墜落・転落。
転落	新築、改築、解体工事における屋根からの墜落。



### 交通運輸業

腰痛等	荷の取扱中に、腰痛、肩関節の捻挫、アキレス腱の断裂、等を発症。
墜落・転落	トラック荷台から墜落。トラックの荷台・運転席への昇降時に転落。

